

令和3年度社会福祉法人八千代町社会福祉協議会事業報告

社会構造や家族形態の変化に伴い、社会福祉を取り巻く環境は、新たな貧困や地域コミュニティの希薄化など、複雑多岐にわたっています。加えて新型コロナウイルス感染症の発生、拡大により感染対策として“新しい生活様式”の実践が求められています。

三密を避けた新しい生活様式により、人と人が距離を取り、お互いに触れ合う機会の減少は、社会福祉協議会の事業に大きな影を落としています。特に、ふれあいいきいきサロンや友愛訪問などの活動自粛は、高齢者の孤立対策や安否確認に大きな支障をきたす現状となっていました。

このような中、社会福祉協議会では、住民生活の向上のため関係機関と連携し、地域社会のニーズの把握や活動計画の立案、課題の解決に向け「横のつながり」を重視した取組みを推進し、新しい生活様式の中にあっても、活動できる新たな事業を模索し実践してきました。

そして、「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり」を進めるため、「我が事、丸ごと」の理念のもと、地域に住む全ての人が連携・協力しながらお互いに支え合う「地域共生社会」の構築を目指し、さらに、これまでの活動で培ってきた経験や手法を生かしながら、地域住民と共に心豊かに健康で生き生きとした生活ができる福祉社会の実現に努めました。

重点項目への対応状況

- (1) 住民同士のつながり、行政・民間組織との連携を深め「我が事、丸ごと、地域共生社会」の実現に向けた取組みを推進しました。
- (2) 地域福祉ニーズ調査等で明らかになった福祉課題に対応する分析を行い、新たなサービス事業の実施に向けた検討を行いました。
- (3) 住民が自ら主体となって活動する住民支え合い活動の支援に努めました。
- (4) コロナ禍にあっても感染症予防対策を徹底したうえで、事業を中断させないよう継続、実施に努めました。

1 事業概要

(1) 法人運営

- ① 理事会、評議員会等を開催し、社協事業の適正な運営を図りました。

開催日	会 議 名	内 容
R3.5.18	監 査 会	令和2年度八千代町社会福祉協議会事業報告・収入支出決算の監査
R3.5.31	理 事 会	令和2年度八千代町社会福祉協議会事業報告について 令和2年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出決算について 八千代町社会福祉協議会評議員会に推薦する役員の候補者について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 八千代町社会福祉協議会定時評議員会の招集について
R3.6.16	定時評議員会	令和2年度八千代町社会福祉協議会事業報告について 令和2年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出決算について 八千代町社会福祉協議会役員の選任について

R3.6.16	理 事 会	八千代町社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会に推薦する評議員の候補者について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
R3.7.6	評議員選任・解任委員会	八千代町社会福祉協議会評議員の選任について
R4.1.20	理 事 会	八千代町社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の専決処分事項の承認を求めることについて 八千代町社会福祉協議会小口貸付規程の一部を改正する規程について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会に推薦する評議員の候補者について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について 八千代町社会福祉協議会評議員会の招集について
R4.1.20	評議員選任・解任委員会	八千代町社会福祉協議会評議員の選任について
R4.3.30	理 事 会	令和3年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算第1号について 令和4年度八千代町社会福祉協議会事業計画について 令和4年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出予算について 八千代町社会福祉協議会臨時職員雇用等管理規程の一部を改正する規程について 八千代町社会福祉協議会評議員会に推薦する役員の候補者について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会に推薦する評議員の候補者について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について 令和4年度八千代町社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約締結について
R4.3.30	評 議 員 会	令和3年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算第1号について 令和4年度八千代町社会福祉協議会事業計画について 令和4年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出予算について 八千代町社会福祉協議会役員の選任について

② 社協会員加入を促進しました。

社協会員会費	普通会員	4, 8 6 7 世 帯	2, 4 3 3, 5 0 0 円
	特別会員	4 4 事業所	4 4 5, 0 0 0 円

(2) 高齢者福祉対策

① 老人クラブ連合会の育成援助

老人クラブ連合会単位会長・女性部長研修、高齢者芸能のつどい（地区ごとに開催）を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

会員数 2 0 2 名

② 寝たきり高齢者等への理髪料助成

民生委員の協力のもと、在宅で要介護 3 以上の助成申請者を対象に理髪料の助成を行

い、介護者の労力の軽減と要介護者の衛生管理に努めました。



利用延人数 78名

③ 敬老祝い品の贈呈

町内の88歳到達者及び100歳以上の高齢者宅を、敬老を祝うと共に祝金品を贈り、高齢者福祉の充実に努めました。

敬老祝実績

	88歳	100歳	101歳以上	合計
男性	46	1	0	47
女性	82	7	11	100
計	128	8	11	147

④ ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

ボランティアの協力により、70歳以上のひとり暮らし高齢者宅へ、毎月2回、第2・4火曜日に安否確認を目的とした友愛訪問と併せてお弁当を配付し、高齢者福祉の向上に努めました。



実施回数 10回

利用延人数 1,209名

(月平均利用者数120.9名)

⑤ 高齢者世帯クリスマス料理配付事業

70歳以上のひとり暮らし高齢者の方へ、民生委委員の協力を得てクリスマス料理をお届けし、高齢者福祉の充実に努めました。

配布実績

ひとり暮らし高齢者 261名



⑥ ふれあいいきいきサロンの設置

地域の高齢者等の仲間づくりや生きがいづくりを目的に、地域の公民館等に月1回以上集まりグラウンドゴルフや健康体操などを実施し、コミュニティづくりの推進に努めました。(平塚西部・落田・高野・菅谷西部・仁江戸・西大山・川尻・兵庫沼端) 8ヶ所



(3) 障がい者福祉対策

① 身体障害者福祉協会への育成援助

町身体障害者福祉協会への活動支援として、町身障者スポーツ大会の開催や茨城県身障者スポーツ大会への積極的参加を呼びかけ、生活意欲の向上を図れるよう計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

会員数 26名

② 視覚障がい者への「声の広報やちよ」のサービス

ボランティアサークルの協力のもと、町内の視覚障がい者へ「声の広報やちよ」を毎月届ける計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

③ 親子すこやか交流事業

町内の障がい児を対象に、ボランティアの協力を得ながら親子で社会参加できる機会を提供し、障がい者福祉の向上に努めました。

内 容 トラック型プランター作り
参加者 44名



(4) ボランティア活動の推進

① ボランティアの育成援助

ボランティアの相談、斡旋、登録等、ボランティア活動の向上に努めました。

ボランティアセンター登録者数 37名

② 福祉教育への参加、協力

町内の小学校からの福祉体験学習の依頼を受け、個人ボランティアや手話サークルの協力を得て、車いすの介助方法や目や耳が不自由な方への介助の仕方、手話でのコミュニケーション方法を学び、福祉に対する理解を深めました。

実施校数 2校

(車いす2回、アイマスク2回、手話2回)



③ ご近所声かけ隊事業

隊員として登録しているボランティアが、ひとり暮らし高齢者や小学校の下校時の児童に声かけや見守りをするすることで、地域の安全確認に協力し、福祉コミュニティづくりの推進を図りました。

隊員登録数 17名

④ ボランティア連絡協議会の育成援助

今後益々必要とされるボランティア活動を推進するため、ボランティアサークル及び個人ボランティア相互のつながりや、情報の共有・協働による活動展開ができるよう、連絡協議会の活動支援を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

サークル登録数 5サークル 115名

個人ボランティア登録数 12名

⑤ ボランティア活動保険加入受付

ボランティア活動中の事故に備えて、ボランティア活動保険等の保険加入を受け付けました。

活動保険加入者 420名

行事保険加入者 400名

福祉サービス総合補償保険加入者 15名

ふれあいサロン傷害補償 50名

⑥ 寄附金品の受入れ及び払出し（善意銀行）

町民の方からの善意をお預かりし、地域福祉向上のために役立てました。

寄附金 6件 1,054,029円
 物 品 29件 (使用済み切手、タオル等)



「住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を推進するため、町民を対象とした福祉向上につながる活動に助成をしました。

団体名	事業内容
八千代オハナこども食堂	子ども食堂の開催
特別養護老人ホーム 玉樹	コーヒーの淹れ方講座

⑦ 夏休みチャレンジ体験講座の開催 (小学4年生～6年生対象)

子どもの頃から、地域福祉に対する理解や関心を高めてもらうために、盲導犬体験を8月10日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。

参加申込者 20名

(5) 児童福祉対策

① サンタクロース派遣事業

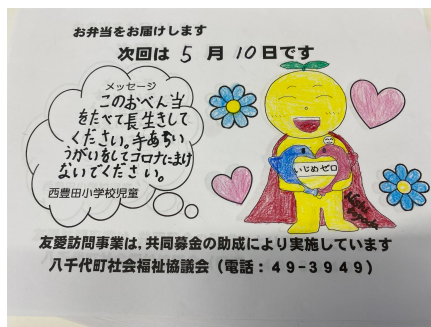
保育園・幼稚園のクリスマス会などの行事にサンタクロースを派遣して、子どもたちへプレゼントを届けました。

(たちばな幼稚園・みどりが丘保育園、さわきこども園、八千代中央幼稚園、中結城保育園、ひかり保育園、安静保育園、認定こども園さんわ) 8園887名



② 福祉教育推進学区指定事業

令和3年度から2年間西豊田小学区を指定し、福祉体験学習や認知症サポーター養成研修等を実施し、子どもの時から社会福祉への理解と関心を高め、福祉の増進に努めました。



③ 子育て支援

子育て支援事業の実施団体へ助成をし、児童福祉の向上に努める予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動自粛となり中止といたしました。

対象団体 八千代町地域女性団体連絡会

(6) 母子福祉対策

母子寡婦福祉会への育成援助	会員数	14名
母子、父子家庭の新入学児童へ祝品を贈りました。		1名

(7) 低所得世帯対策

① 生活福祉資金貸付事業

茨城県社会福祉協議会が行う貸付制度で、低所得世帯、障がい者の世帯、高齢者世帯の生活向上のため、貸付及び世帯更生指導を行いました。

年間相談件数	23件
貸付利用者	2名

② 新型コロナウイルス感染症による生活福祉資金特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により生活資金で困った方を対象として、緊急小口資金と総合支援資金の貸付を行いました。

緊急小口資金	40件
総合支援資金	50件
総合支援資金延長貸付	17件
総合支援資金再貸付	68件

③ 小口貸付資金貸付事業

民生委員の協力のもと小口貸付資金の活用により、低所得世帯の更生助長に努めました。

年間相談件数	12件
貸付利用者	7名
うち償還完了	4名
貸付総額	155,000円

④ 生活困窮者への食糧支援

フードバンク茨城から提供を受けた食糧を備蓄しておき、行政や社協へ相談に来た緊急

性の高い生活困窮者への対応として、食糧の支援を行いました。

支援延件数 10件

(8) 相談事業

① 心配ごと相談事業

毎月第2・4火曜日に中央公民館談話室に相談所を開設しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、電話相談のみ受け付けをし、人権擁護員・行政相談員・学識経験者等の相談員が、住民の様々な悩みごとの相談に応じました。

また、専門的な相談については、法テラス等の各専門機関と連携して必要な情報提供や適切な助言を行いました。

開所回数 14回

年間相談件数 7件

② 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

認知症高齢者、知的、精神障がい者等で判断能力が不十分で親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きや通帳や証書などを預かり日常生活上での金銭管理を援助し、地域福祉の向上に努めました。



支援延時間 34時間

(9) 在宅福祉サービスセンター（有償ボランティアサービス）

高齢者のいる家庭、子育てなど在宅で福祉的援助を必要とする方が地域で安心して生活できるようサービスを提供し、在宅福祉サービスの向上に努めました。

協力会員 7名

利用会員 7名

利用延時間 290時間

(10) 障がい者総合支援法事業

障がい者居宅介護、重度訪問介護（ホームヘルプ）

障がい者が、可能な限り在宅生活が送れるように、入浴・排せつ及び食事等の介護・調理・洗濯及び掃除等の家事、並びに生活等に関する相談及び助言、その他の生活全般にわたる援助を行い、在宅福祉の向上に努めました。

利用者 1名 利用延時間 14時間

(11) 受託事業

① 軽度生活援助事業

日常生活に軽易な支援が必要な、在宅のひとり暮らし高齢者に対し、住み慣れた自宅で

の生活がこれからも続けられるよう、ホームヘルパーが訪問し調理や掃除、ゴミ出し、服薬確認等の日常生活上の支援を行いました。

利用者 2名 利用延時間 81時間

② 地域生活支援事業（スキルアップ手話講座）

日常会話の手話の読み取り・基本表現の習得を目指し、手話ボランティアの活動や、地域の聴覚障がい者と手話で会話ができるよう手話を学びました。



受講者数 16名

実施回数 23回

③ 要約筆記1日体験講座

中途失聴・難聴者への理解を深めるため、様々な情報を伝えるためのコミュニケーション手段の一つである筆談や要約筆記の基本知識を学び、難聴者の暮らしをサポートする人材を育成するため、2月15日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

参加申込者数 11名

（12）介護保険事業

① 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

生活の支援や介護が必要な方が住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できるよう保険・福祉・医療サービスを総合的に提供し、利用者の心身の状況にあわせて自立した日常生活を営むことができるよう介護サービス計画（ケアプラン）を提供しました。

月平均利用者数 74名

月別利用状況

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年	増減
要介護1～5	60	60	57	57	57	62	68	63	60	54	58	57	713	777	-64
要支援1～2 事業対象者	18	18	17	17	14	14	14	14	14	16	15	14	185	231	-46
合 計	78	78	74	75	72	76	82	77	74	70	76	71	898	1,008	-110

② 訪問介護事業（ホームヘルプ）

在宅での介護を必要とする要支援、要介護の方に対し、関連機関と連携し、身体介護その他必要な日常生活上の家事支援を行い、利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活の継続と要介護状態への進行防止を図る訪問介護サービスを提供しました。

月平均利用者数 19名

月別利用状況

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年	増減
要介護1～5	9	9	9	9	12	11	12	13	12	10	12	13	131	153	-22
要支援1～2 事業対象者	9	9	9	9	8	8	8	8	8	9	9	8	102	95	+7
合 計	18	18	18	18	20	19	20	21	20	19	21	21	233	248	-15

(13) 共同募金事業

① 赤い羽根共同募金事業の推進

茨城県共同募金会八千代町共同募金委員会として、10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施しました。

② 歳末たすけあい配分事業の実施

民生委員の協力を得て、町内のひとり暮らし高齢者や身体障害者など、支援を必要とする方々へ、支援金として配分を行いました。

配分基準	今年度	前年度	増減
ひとり暮らし高齢者	248名	240名	+8
身体障害者手帳1級保持者	166名	167名	-1
精神保健福祉手帳1級保持者	1名	0名	+1
療育手帳(A)・A保持者	37名	40名	-3
母子父子世帯及び父母のいない世帯	151名	151名	±0

③ 赤い羽根 新型コロナウイルス子どもと家庭支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響による新たな福祉課題の解決を目的として、支援を必要としたひとり親世帯に食料品と日用品の配布を行いました。

配布世帯数 150世帯

(14) 広報活動

- ① 「社協だより」の発行（年1回）
- ② 「ボランティア広場」の発行（毎月）
- ③ ホームページの公開
- ④ Facebook、TwitterのSNSによる情報発信

(15) その他

① 福祉機器貸出事業

日常生活を支援するため、病気やケガなどで一時的に福祉用具が必要な方に、車いすのまま乗り降りできる福祉車両や福祉用具を貸出しました。



福祉車両貸出	70件
車いす貸出	30件
松葉杖	1件

② 遺族会への支援

町遺族連合会の活動及び県戦没者追悼式、県戦没者遺族大会の参加支援を行いました。

会員数 442名

③ 施設配分助成金

町内の福祉施設が実施する高齢者や障がい者の生きがい支援を目的とする事業に対して助成を行いました。

(なごみ苑、あじさい学園八千代、あじさい学園寮、樂樂、なかよし家族、玉樹)

6施設 配分総額 120,000円

④ 福祉団体助成事業

福祉団体に対して活動費の助成を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動自粛となり、中止といたしました。

(八千代町遺族連合会、八千代町身体障害者福祉協会、八千代町ボランティア連絡協議会、八千代町母子寡婦福祉会)

⑤ 三世代交流事業

地域の高齢者から子どもまで三世代がつどい、行政区の良好なコミュニティ形成の充実に図ることを目的とした事業に助成を行いました。

1行政区

⑥ 住民生活応援事業

支援を必要とするひとり親世帯に対して、JA 常総ひかりからのお米の提供と共同募金配分金と合わせて、食料品の配布を行いました。

配布世帯数 105世帯



令和 4年 6月20日 提出

令和 4年 6月20日 認定

社会福祉法人

八千代町社会福祉協議会

会 長 野 村 勇